

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		街路灯維持管理事業		担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	平成24年度～
	施策	防犯対策の推進		種別	任意的事務
	基本事業	まちの防犯機能の充実		市民協働	
予算科目コード		01-020705-04 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
夜間の犯罪増加に伴う、犯罪被害防止・犯行抑止及び都市化発展に伴う交通量の増加に対応すべく、交差点等の交通危険箇所対策として事業を開始した。	市民等から連絡を受けた防犯灯及び街路灯（公園灯、遊歩道灯、道路照明灯、駅前街路灯）の不良（球切れ等）に対して、迅速かつ適切に対応し、夜間の犯罪発生防止と交通安全の確保を図る。また、計画的にLED化をすることで、維持管理費（修理代、電気代）の削減につなげる。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	【修理実績】 防犯灯街路灯の修理件数 982件 ・球切れ 884件 ・点滅器 52件 ・LED灯へ器具交換 10件 ・撤去・移設・断線修理・その他 36件
整備された防犯灯及び街路灯（公園灯・遊歩道灯、道路照明灯、駅前街路灯）を適性に維持・管理することで、夜間の犯罪発生防止と交通安全の確保を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
防犯施設等を設置し、犯罪の抑止や安全性の向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
防犯灯・街路灯の管理番号プレートについて、設置してから年数が経過しているものは、欠如・破損がみられるため、LED化を進める上で、より耐久性のある管理番号プレートに変更し、維持管理の向上を目指す。	・守谷駅前街路灯等の計画的なLED化により、維持管理費（修繕費・電気代）の削減につながった。 ・管理番号の欠如や破損が見られた箇所については、エリア単位での現地調査のうえ、張り替えを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
街路灯の修理件数（件）	823.00	1,019.00	982.00	700.00	500.00
街路灯のLED化率（％）	17.90	24.80	36.60	80.00	100.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	守谷駅前街路灯等の計画的なLED化により、維持管理費の大幅な削減が見込めるため、成果が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 ■統合 □廃止・終了	平成29年度に「街路灯整備事業」と統合する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	64,668	64,353	44,902	206,537	106,869
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	64,668	64,353	44,902	206,537	106,869
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	229.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	939	0	0
トータルコスト		64,668	64,353	45,841	206,537	106,869

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		街路灯整備事業		担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	平成24年度～
	施策	防犯対策の推進		種別	任意的事務
	基本事業	まちの防犯機能の充実		市民協働	
予算科目コード		01-020705-05 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
夜間の犯罪増加に伴う、犯罪被害防止・犯行抑止及び都市化発展に伴う交通量の増加に対応すべく、交差点等の交通危険箇所対策として実施された。	・防犯灯は、区長・市民からの新設要望に基づき、現地確認をし、危険度や地域のバランス等を考慮のうえ優先順位をつけ、設置する。また、既存防犯灯の全灯LED化を計画する。 ・公園・遊歩道灯は、経年劣化の進んでいるもの及び水銀灯をLED灯へ改修する。照明を制御している分電盤についても、経年劣化の進んでいるものから計画的に改修する。 ・道路照明灯は、交通事故多発箇所・新設道路・横断歩道設置箇所で優先順位をつけ、設置する。 ・守谷駅前街路灯は、LED灯へ改修し、照度アップと維持管理費削減をする。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	【実施内容】※LED灯の新設・改修 防犯灯 新設工事 46箇所 改修工事 291箇所 公園灯改修工事 12箇所 遊歩道灯改修工事 78箇所 分電盤改修工事 3箇所 道路照明灯設置工事 4箇所 守谷駅前街路灯改修工事 西口 96箇所 東口 98箇所 自由通路 27箇所
防犯灯及び街路灯（公園灯、遊歩道灯、道路照明灯、駅前街路灯）を整備することで、夜間の犯罪発生防止と交通安全の確保を図る。また、既存の防犯灯及び街路灯を計画的にLED照明へ改修することで、犯罪抑止環境の強化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
防犯施設等を設置し、犯罪の抑止や安全性の向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
・守谷駅前街路灯の全灯LED化により、維持管理費の削減及び照度アップを図る。 ・防犯灯の全灯LED化について、経費等のシュミレーションを行い、維持管理費及び業務量の削減を図る。 ・公園灯や遊歩道灯についてランプ及び電源部のみの改修によるLED化を実施することで、更なる維持管理費の削減及び工事の低コスト化を図る。	・守谷駅前街路灯について、維持管理費の削減及び照度の改善を目的として駅西口及び駅東口、自由通路のLED化を実施した。 ・既存防犯灯を全灯LED化について、現状の設置灯数の把握、維持管理費削減額のシュミレーション、照度アップの比較等を行い、平成29年度に防犯灯全灯LED化する計画を作成した。 ・公園灯や遊歩道灯について、ランプと電源部のみの改修によるLED化を実施し、低コストでより多くのLED化を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
防犯灯のLED化率（％）	22.20	29.60	36.10	100.00	100.00
街路灯のLED化率（％）	17.90	24.80	36.60	80.00	100.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	防犯灯については、現状の設置灯数把握、維持管理費削減額のシュミレーション、照度アップの比較を行い、次年度における全灯LED化により防犯灯のLED化率が約100%になるため、成果が向上している。その他の街路灯についても、計画的なLED化の実施により低コストな手法でのLED化ができ、今後、短期間でLED化率の大幅なアップが見込めるため、成果が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 ■ 統合 □ 廃止・終了	平成29年度に「街路灯維持管理事業」と統合する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	21,678	27,479	56,662	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	500	0	1,000	0	0
	一般財源	21,178	27,479	55,662	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	632.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,591	0	0
トータルコスト		21,678	27,479	59,253	0	0